

ジュニア賞

災害キキ管理

東内 祐弥（高校3年生：大阪府）

【課題】

自然災害が頻発する日本では、防災の重要性が広く認識されています。しかし、学校や職場で行われる防災訓練は、形式的であるため深い理解には至りにくいのが現状です。実際の災害は、いつ、どこで、どのように起こるか予測できません。私は、この「不確実さ」という特徴に着目し、さまざまなシナリオで、いのちを守るために個人が瞬時に判断し、行動できる能力を養う必要があると考えました。さらに、なぜそのように判断したのかという背景を共有し、互いに聴き（キキ）合うことで、より実践的な防災力が高まります。こうした対話による防災の新しい学びを実現するツールとして、「災害キキ管理」というカードゲームを提案します。

【概要】

プレイ人数 :3-10 人

立場カード : なりきる役割、カード A: 災害の種類、カード B: 起こる時期、カード C: いる場所

* カードは各 10 枚、自由に書ける白紙カード 10 枚で計 50 枚

【ゲーム内容】

1. ゲーム開始時に、各プレイヤーに立場カードが配られます。「高齢者」や「訪日外国人」などがあり、プレイヤーはその立場の人々ならではの視点や特徴を踏まえる必要があります。
2. 場の中央に、カード A・B・C をそれぞれランダムに 1 枚ずつ選び、プレイヤーが直面するシチュエーションを形作ります。また、必要であれば白紙カードに追加で制約を書くこともできます。
3. 各プレイヤーは、与えられた立場と状況を考慮した上で、どのように行動すべきかを考えます。思考時間は自由に設定できますが、できるだけ短い時間で決断することが望ましいです。
4. 一人ずつ、自分が考えた行動や理由を発表します。
5. 最も適切な行動をとったと思う人を投票し、最も多くの票を集めたプレイヤーが、そのラウンドの勝者となります。
6. プレイヤーと自由に話し合い、振り返りを行います。新しいラウンドを始めることもできます。